

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC230	科目名	生活行動のための介護Ⅲ	担当者名	三國 美香						
授業の概要	根拠に基づいた介護技術の理解と実践を行い、介護福祉士として必要な実技を学ぶ。それぞれの身体状況に合わせた支援を行う事ができるよう学ぶ。疾病やADLに合わせた対応ができるようになるためのポイントを学び、実践する。										
科目の到達目標	安心・安全・安楽な介護技術を習得する。そのケアにどのような目的や意図が考慮されているかを関連付けて支援できるようにする。										
DPの観点	①判断力、②専門知識・技能、⑤コミュニケーション能力										
授業時間外学修(予習・復習)	1年次の生活行動のための介護Ⅰ、Ⅱで行った実技を予習し、講義後に復習する。予習・復習は、それぞれ1時間程度の学習をすること。										
フィードバックの方法	リアクションペーパー										
単位認定の要件	授業内活動や実践力の修達度等から総合的に判断する。										
評価の方法・割合(%)	授業内活動70% リアクションペーパー30%										
履修上の注意事項	介護実習に関連のある講義のため、毎回身だしなみの確認を行う。										

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			快適な居室環境: ベッドメイキング	①	リアクションペーパー
2			起き上がり・移動	⑤	リアクションペーパー
3			整容・衣服の着脱1: 一部介助の整容・衣服の着脱	②、⑤	リアクションペーパー
4			整容・衣服の着脱2: 全介助の整容・衣服の着脱	②、⑤	リアクションペーパー
5			排泄介助1: 一部介助の排泄	②、⑤	リアクションペーパー
6			排泄介助2: 全介助の排泄	②、⑤	リアクションペーパー
7			食事形態に合わせた介助	②、⑤	リアクションペーパー
8			口腔ケアに関する介助	①	リアクションペーパー
9			入浴に関する支援1: ポイント、留意点	①	リアクションペーパー
10			入浴に関する支援2: 実践	②、⑤	リアクションペーパー
11			入浴に関する支援3: 入浴後のケア	②、⑤	リアクションペーパー
12			場面に応じた福祉用具の活用	①	リアクションペーパー
13			終末期における支援の視点	②	リアクションペーパー
14			介護総合支援1: 場面に応じた介助(一部介助)	⑤	リアクションペーパー
15			介護総合支援2: 場面に応じた介助(全介助)	⑤	リアクションペーパー
期末試験					

使用テキスト	『新・介護福祉士養成講座』第6～8巻「生活支援技術Ⅰ～Ⅲ」(中央法規出版) 発行: 莊村明彦 編集: 介護福祉士養成講座編集委員会
参考文献 参考URL	『イラストで理解する初めての介護-心と技術』川島みどり編集 (中央法規出版)
備考	

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	---

授業の自己評価	
---------	--